

タイトル	高倉新一郎編「蝦夷地各場所請負人運上金調」(3) 北海道アイヌ民族場所請負制資料監修
著者	大場，四千男；OBA, Yoshio
引用	北海学園大学学園論集(146)：195-237
発行日	2010-12-25

高倉新一郎編「蝦夷地各場所請負人運上金調」(Ⅲ)

北海道アイヌ民族場所請負制資料監修 大 場 四 千 男

目 次

- 第一編 松前藩時代前期の場所請負制運上金調
 - 一章 享保十二歳末八月 (1727)
 - 松前西東在郷並蝦夷地所附(一)
 - 松前東在郷並蝦夷地所附(二)
 - 二章 蝦夷地一件
 - 松前直領交易請負
 - 三章 蝦夷地一件
 - 他国より罷越蝦夷地交易仕候者名前書付
 - 四章 天明四申辰御収納取立目録 町御役所(一)(二)
 - 五章 天明六年 (1785) 西蝦夷地分間
 - 六章 松前隨商録・蝦夷双紙別帳・元禄支配所名比較表
 - 七章 蝦夷商賈聞書・松前国中記
 - 八章 石狩十三場所
 - 九章 シコツ拾四場所支配主
 - 十章 寛政元年 蝦夷地図地名 (知行主名前) (以上 144 号)
- 第二編 幕府直轄時代の場所請負制運上金調
 - 一章 寛政三年東蝦夷道中記
 - 二章 子九月東西蝦夷地場所附 (西蝦夷地分間)
 - 三章 武川旧記
 - 四章 休明光記附録
 - 五章 和田郡司日記
 - 六章 東夷周覧 (享和元年著)
 - 七章 文化四年田草川傳次郎 西蝦夷地日記
 - 八章 土人由来記

九章 東蝦夷地場所運上金文化九年九月入札高点者

十章 伊達家諸用留(文化九年)

十一章 東蝦夷地請負調(函館問屋儀定書)

第三編 松前藩時代後期の場所請負制運上金調

一章 箱館申送書(文政五年幕府吏ヨリ松前氏へ引継書)

二章 文政年間東西請負人表(東西蝦夷地運上調(伊達家文書))

三章 文政年間東西蝦夷地運上金調(伊達家旧記)

一節 東蝦夷地場所之運上金

二節 西蝦夷地場所之運上金

第四編 幕末初期時代の場所請負制運上金調

一章 西蝦夷地運上金(文政五年)

二章 東西蝦夷地場所々御運上金並請負人場所調(天保)

三章 天保十二年
四月吉祥日 東西蝦夷地場所附

四章 蝦夷租金録(天保十二年調)(以上145号)

第五編 幕末後期時代の場所請負制運上金調

一章 蠹餘一得四集卷四蝦夷租金「天保、嘉永比較」

二章 再航蝦夷日記(弘化三年)

三章 按西韋記(安政寅年調)

四章 安政元年蝦夷地請負人、運上金等(蝦夷地目撃)

五章 東蝦夷地明細書(蝦夷大鑑)

六章 松前箱館雜記卷二(南部邸旧記)

七章 東西蝦夷地場所請負人運上金調(北海道風土記卷十六)

八章 東西蝦夷地運上金比較

九章 東西蝦夷地各漁場請負ニ関スル件(万延)

十章 御用控(福山町鈴木忠美記録)

十一章 文久元年請負人及請負金

十二章 慶応元年丑年六月 東西蝦夷地運上金増金並御用金控

十三章 東西蝦夷地運上金増運上金仕向金其外上納金控書(豊嶋三右エ門履歴)

十四章 補遺(實行寺開基録・函館市在並二東西蝦夷地上納金)

第五編 幕末後期時代の場所請負制運上金調

一章 蠹餘一得四集卷四蝦夷租金「天保、嘉永比較」

蝦夷租金

天保十二年辛丑調 西蝦夷地 俗ニ上蝦夷ト言フ 嘉永七申寅調

(屋号)	場所	租金	請負人	備考	租金	請負人
一二印 又印 ㊦	ク ト ウ	六兩三分	石橋屋松兵衛	松前	六兩二分	小川九兵衛 松前
	フ ト ロ	六兩	浜屋勘兵衛	江州三ツ屋村出張	六十兩	
	セ タ ナ イ	六十五兩	山崎屋新兵衛	江州柳川村出張	六十五兩	
	ス ツ キ シマコマキ	三百兩	阿部屋伝次郎	松前 先能州出	二百兩	
㊦	ス ツ ㄱ	百十兩	山崎屋新兵衛		九十二兩 外秋味役百石以上 百石ニ付二十兩 差荷八兩	山崎屋新八
	ヲ タ ス ツ	二百十兩	西川准兵衛	江州八幡	二百十兩	田印 升屋定右エ門 箱館
	イ ソ ヤ	百九十七兩	全		百三十七兩 秋味役五十五兩 鱒雜網役十五兩	西川准兵衛
	イ ワ ナ イ	五百十五兩	仙北屋仁左エ門	松前 先秋田仙北	六百十五兩	
兎印	フ ル ウ	九十七兩	福島屋新右エ門	江州泉川	百九十七兩	
㊦印	シヤコタン	百九十五兩	岩田金藏	松前	百九十五兩 コヒキ一兩	
い印	ピ ク ニ	百八十五兩	全		百七十兩 指荷十五兩	
	フルヒラ	三百八十兩	岡田甚兵衛	江州八幡	二百六十兩 秋味役百二十兩	
	上 ヨ イ チ	百九十兩	竹屋長左衛門	羽州塩越村	三百二十兩 秋味役二十三兩	
	下 ヨ イ チ	三百四十三兩	全		百九十兩	
㊦	ヲ シ ヨ ロ	二百九十七兩	西川准兵衛	松前 江州八幡	二百九十七兩	西川徳兵衛
㊦	タ カ シ マ	三百卅兩二分	全		二百十三兩 秋味役九十五兩 鱒役廿二兩二分	
	ヲタルナイ	五百七兩	岡田半兵衛		三百七十兩 秋味役百二十兩 鱒網役十七兩	
	イ シ カ リ	千兩	阿部屋伝次郎			阿部屋伝兵衛
	ア ツ タ	三百廿兩	宮川増藏	松前 江州	百九十兩 秋味運上百三十兩	
全印	ハママシケ	二百六十兩	伊達林右エ門	奥州 支配人久兵衛	先買百五十兩 後買百十兩	

(屋号)	場所	租金	請負人	備考	租金	請負人
㊦印	マ シ ケ	千二百七十両	全		千百両 イリコ役五十両 鱈引役百二十両	
	ルゝモツペ ト マ マ イ	九百五十七両	栖原仲蔵	紀州栖原村 鉄砲州同店	九百両 秋味立船三十両 鱈網釜役廿七両 (隔年)	
	テ シ ラ	三百五十三両	全			
	ヤンケシリ	百三十五両	全			
㊦印	コタンベツ	三十二両	全			天売焼尻二曳百五両 コタンベツ秋味二十五両 外鱈場釜役廿七両 (隔年)
	リ イ シ リ レブンシリ	三百三十四両二分	藤野崑兵衛	江州枝村出張	三百三十四両一分	
	ソ ウ ヤ シ ヤ リ	六百両	全		六百両	
	北蝦夷一円	千五百六十両	伊達林右エ門 栖原仲蔵		千五百六十両	
	大 島 小 島	三両	長右エ門	泊川村 松前	三両	
	ヲ コ シ リ	三十両一分	新谷新左エ門	能州	三十両一分	
	計	一万六百八十八 両三步			一万八百三十一 両二分	阿部屋七左エ門 松前

天保十二年辛丑調 東蝦夷地

嘉永七申寅調

(屋号)	場所	租金	請負人	備考	租金	請負人
㊦印	ヤムクシナイ	三百六十両	伊勢屋卯兵衛	箱館	百三十両	伊達林右エ門 栖原仲蔵
	ア ブ タ	七十両	宮川増蔵地店		七十五両	和田屋莊吉 松前
㊦印	ウ ス	百五両	和賀屋孫四郎	地店	百五両	△ 和賀屋孫四郎 箱館
	エ ト モ ホ ロ ベ ツ	百廿五両 亥年御甲捨有之	万屋専右エ門	江州薩摩村	六十七両二分	岡田半兵衛
㊦印	シ ラ ラ イ	百二十両	野口屋又蔵	地店	百二十五両	野口屋又蔵 箱館
㊦印	ユ ウ フ ツ	二百五十両	山田屋文右エ門	地店	二百五十両	山田寿兵衛 地店
	サ ル	二百両	全		二百両	
㊦印	ニイカツブ	百五十両	浜田屋佐次兵衛	箱館	百五十両	浜田屋兵右エ門
	シ ツ ナ イ ウ ラ カ ワ シ ヤ マ ニ	千四十八両 永百文	万屋専右エ門		千四十八両二分 ト永百文	万屋専右エ門 松前
㊦印	ミ ツ イ シ	三百五両	小林屋重吉	地店	三百十両	小林屋重吉 箱館
㊦印	ホロイツミ	六百両	福島屋清兵衛	江州県川出張 支配人嘉七	六百八両	福島屋嘉七 箱館

高倉新一郎「蝦夷地各場所請負人運上金調」(Ⅲ)(大場四千男)

(屋号)	場所	租金	請負人	備考	租金	請負人
※印	ト カ チ	三百十兩	全			
	ク ス リ	五百六十兩	万屋孫兵衛	越後寺泊出張	六百五十兩	米屋勝三郎 松前
	ア ツ ケ シ	六百兩	山田屋文右エ門		六百兩	山田屋寿兵衛
	子 モ ロ	三千兩	藤野崋兵衛		二千五百兩	藤野崋兵衛
	ク ナ シ リ	千兩	全		五百兩	全
	エ ト ロ フ	千兩	藤野崋兵衛 西川准兵衛 岡田半兵衛 近江屋宗兵衛		千兩	伊達林右エ門 栖原仲藏
	計	九千六百十三兩 永百文			八千五百廿九兩 永百文 有珠虻田山麓ニ付半減トスル故九十兩ヲ減シ八 千四百廿九兩永百文トナル	
	西 蝦 夷 地	一〇,六八八,三 〇			一〇,八三一,二	
	東 蝦 夷 地	九,六一三,〇〇 永百文			八,四三九,〇 永百文	
	計	二〇,三〇一,三			一九,二七〇,二	

二章 再航蝦夷日記（弘化三年）

クドウ場所

一金五両貳歩 運上金 請負人松前方市人 西屋金蔵
但シ此外備米五俵貯置候事

オコシリ

一金三十両一歩 運上金 請負人 荒屋要右エ門
外一両二分 差荷物代

フトロ場所

一金五拾両 運上金 松前城下請負人 石橋屋松兵衛
但シ内金貳両は天保十三寅年^レに相倍候事但シ弘化丙午年^レに一二印平田与三右エ門^レ請負ス
備米五俵

セタナイ場所

一金六拾五両 運上金 請負人松前市人 又 山崎屋新兵衛
秋味相応之節は見込高之分に応し冥加金上納候事
備米五俵

シマコマキ

一金貳百両 運上金 嘉永二七酉年^{（三戌年ノ誤）}に松前市人 小川屋九右エ門
但シスツキ場所共なるべし
備米十五俵

犀川日
嘉永三年ヨリ七ヶ年季
小川屋九兵衛

スツゝ

一金九拾貳両 運上金 請負人 山崎屋新兵衛
一金貳拾両 秋味請負金
但シ又百石目以上秋味漁事之節は金貳拾両ツゝ上納若又不漁之節は秋味請負金
も減少す
外ニ金八両差荷物代

姓ハ田付、屋号ヲ柳屋
ト云フ。
文政十一年一月山崎屋
ト改ム

ヲタスツ場所

徳?

一金貳百拾兩 運上金 請負人松前市人 田 西川傳兵衛
但シ秋味百石目以上之節は貳拾兩ツゝ冥加金相納候事若又切開ニ相成積取之分
者右金貳拾兩を四ツ割に上納候事

イソヤ

徳?

一金百三拾七兩 運上金 請負人松前市人 西川傳兵衛
秋味五拾七兩
鱒 七兩
鱈 三兩 但シニ品共立船無之節は冥加金無之候事
雜魚上納五兩
上 乗 金七兩
差荷物代拾三兩右差荷物代と申し給料上納也其例ニ納事但シ秋味之儀五百石目
積取ノ上は百石目ニ付金貳拾兩ツゝ冥加金上納候事
又切開ニ相成は廿兩を四ツ割一分上納仕事
「船人足は二八小屋方分役八取るよし、故ニ二八の割合右運上の上を今ては又一八斗引てあるよし聞けり。」

イワナイ場所

一四百六拾五兩 運上金 請負人松前市人
兪 仙北屋仁左エ門
朱点 内金拾五兩は天保二年卯年ゝ増金成候事
秋味五百石目見込其上は百石ニ付金貳拾兩宛冥加金上納候事
但切開ニ相成候節は右貳拾兩を四ツ割分上納仕候事

フルウ場所

一金百九拾七兩 運上金 請負人松前町人
一丁 福島屋新右エ門
但シ^(朱点)内金五兩は文政十三寅年ゝ増成候事

シヤコタン場所

一金百九十五兩 運上金 請負人松前市人 岩 岩田金藏
^(朱印)但シ百兩は天保三辰年ゝ相増候事
別ニ金壹兩 海舩曳運上
金七兩 上乘金

金十六両 差荷物代

ヒクニ場所

一金百七拾両 運上金 請負人松前町人 岩田金蔵
(朱印) 内金六両歩は天保二卯年^に増高

フルヒラ場所

一金貳百六拾両 運上金 請負人松前町人 岡田半兵衛
秋味百十両 冥加
別ニ九両貳歩 差荷物代

ヨイチ場所 下ヨイチト言也

一三百二拾両 運上金 請負人松前市人 竹屋長左衛門
一貳拾三両 秋味冥加 但シ七百石目見込
別ニ五両 上乘金
一金十八両 差荷物代
(朱) 「此書の地図ニヨレハ旧余市町ヲ「下ヨイチ」、余市川口ノ方ヲ「上ヨイチ」ト記セリ」

上ヨイチ場所

一金百九拾両 運上金 請負人 同上
但シ此場所は古来^に大主様領分なりしによつて上乘金差荷物代なし。今は一口
めて下ヨイチ場所ニ而支配する也。

ヲシヨロ場所

一金二百九十七両 運上金 請負人松前市人 西川徳兵衛
三十両 さし荷物料

タカシマ場所

一金貳百拾三両 運上金 請負人松前町人 西川徳兵衛
内金貳拾三両文政十三亥年^に相増候事

九十両ハ九十五両ノ誤

一別九十両 秋味冥加
一別貳拾貳両貳分 鱒冥加
一別五両 上乘金

一別貳兩貳歩 鱒漁上乘金
一別拾貳兩 差荷物代

石カリ場所

一金貳千貳百五十兩 運上金 請負人松前市人 阿部屋傳次郎
但シ切圀三百石目迄百石ニ付冥加金貳拾兩上納外鮭百石ニ付貳拾本ツゝ上納之事

石カリ十三ヶ場所

一金千兩 運上金
夏場秋味

但シ秋味五千石目以上積取之節百石ニ付貳拾兩ツゝ冥加金上納之事
一金三拾九兩壹歩差荷物代

上乘金

但シ右十三ヶ場所之儀天保二卯年迄皆別ニ上納致し候事ニ候得共隔つ事ニ不及候間右之通り誌する、然れ共其秋味の上り高も見るによろしかれば其古帳面を此川筋場所々々へ贅附するもの也。見る人蛇足と思ふこと無かれ

ハツシヤブ番屋

一金四拾兩 運上金
但シ別段
一金十兩 上乘金
一金四兩 差荷物代

サツホロ番屋

一金四拾六兩 運上金
別段
一金貳兩貳分 上乘金
一四兩 差荷物代

上サツホロ番屋 此番屋枝川の上に有よし

一金三拾五兩
永錢五十入(文) 但シ永錢之事金壹兩壹貫文と相定候金壹歩ニ貳百五十文ト相定事

シノロ番屋

一金三拾四両壹歩	運上金
一金三両	差荷物料

チイシカリ番屋

一金五十五両	運上金
一別金貳両	差荷物料

下チイシカリ番屋

一金三拾七両	運上金
一別三両貳歩	差荷物料

ユウバリ番屋

一金四十貳両貳歩	運上金
----------	-----

下ユウバリ番屋

一金四十両	運上金
一別金五両	差荷物代

シユマゝツフ番屋

一金四十両	運上金
一別金五両	差荷物代

アツタ場所

一金百九拾両	運上金	請負人松前町人 仝 萬屋増蔵
一金百三拾両	秋味上納	

但シ秋味千石目見込其上大漁之節は百石目金二十三両冥加金上納若切囲ニ相成節は百石目ニ付金貳拾三両を四ツ割三ツ分上納ニ出し候事

一別ニ金十五両	秋味添船
一金貳十貳両	差荷物代

ハマゝシケ

一金百五十両	先買上納	請負人松前市人 伊達林右エ門
一金百十両	跡買上納	

一金七両 差荷物代

マシケ場所

一金千百両 運上金 請負人松前町人 伊達林右エ門

但シ両所にて秋味三千石目見込有之候上者百石目ニ付金子二十五両ツゝ冥加金相納候事

海舩引運上

一金五十両 上納

鱒漁事運上

一百貳拾両 上納

一金十七両 上乘金

一金三十五両 差荷物代

一金貳十八両 秋味上乘金

ルゝモツペ場所

一金九百両 運上金 松前町人 栖原六右衛門

一金三拾両 秋味立船冥加

右は秋味立船先定通り外沓艘相廻り候ニ付冥加上納致し候事

一金貳拾七両 鱒網釜運上隔年納

一金拾両 秋味上乘金

一金八両 差荷物代

テシホ場所

一金三百五拾両 運上金 松前町人 栖原六右衛門

一金百五両 二島海舩引冥加金

一金貳拾五両 コタンベツ秋味冥加金

一金七両 隔年納鱒冥加金

一金二十両 鱒釜役金

秋味右千石目見込之所其余の漁事は金貳拾五両ツゝ上納の事

一金拾両 秋味上乘金

一金貳拾五両 差荷物代

リイシリ, リブンシリ 二島

一金二百三拾四両沓歩運上金 請負人松前市人
柏屋毘兵衛

(朱点)
但シ内四拾四両壹歩文政十三寅年ヨリ増ニ相成事

一別金拾三両	上乘金	日附金上納
一金二両三歩	給地	差荷物代

ソウヤ
シャリ場所

一金六百両 運上金 請負人松前町人 柏屋崑兵衛
則兩処ニ而貳千石目見込之秋味其上の漁事ハ百石ニ付金貳拾五兩ツゝ上納ノ事
若切囲ニ相成候ハゝ右貳拾五兩を四ツ割三ツ分上納ノ事

シャリ場所

運上金則ソウヤ之分ニ誌るす故ニ略ス

カラフト

金千六拾兩	運上金	請負人	栖原六右エ門 伊達林右エ門
-------	-----	-----	------------------

実に此運上金のことは壹文錢ニ而鯛を釣とも言へき事なり。当丙午年入津高八百石以上の船尤千五六百石迄合三拾四艘右を千貳百石と定而四万八百石ニ相成事、是ニ帆まぢ積多き船は又一割半少き船は一割也、其を込ては五万石位ニも相成候事此出入の町人こそ冥加多きとも云へし、又松前家こそ如此利、彼等貳人の町人共の利として、皇国の要義（枢）を要ともせず変現尔見廻し周廻五百里の此巨島の民をして苦しまし置こと心無と言尔も余り有へし

〔○〕 運上金軽減

根室 運上金三千兩ノ処不漁打続ニ付嘉永六丑年ヨリ五百兩ヲ減シテ二千五百兩トナス

国後 運上金一千兩ノ処不漁打続キニヨリ嘉永六丑年半減シテ五百兩トナス

第三章 按西韋記(安政寅年調)

場所名	請負人	運上金	産物	産額(石)	小家(軒)	船(艘)	人口(人)
ク ド ウ	松前 石橋屋松兵衛	十五兩	鯡, 鱈, 鮎, 昆布, 煎 海州, 鮑, イカ	五三, 三二一五	四五	五一	一一 { 四 七 }
フ ト ロ	〃 浜屋与三右門	五十兩	鯡, 鮑, 煎海州	四五六, 三四八〇	三〇	八一	七三 { 三九 三四 }
セ タ ナ イ	〃 古畑屋伝十郎	六十五兩	〃 〃 〃 鮑	九四五, 五二五	?	五七	七〇 { 三九 三二 }
シマコマキ	〃 小川屋九右エ門	二百兩	〃 〃 〃	四六八九, 五一八五	一〇〇	三〇一	三四 { 二五 九 }
ス ツ ヌ	〃 山崎屋新八	百兩 { 運 92 差 8 }	〃 〃 〃 干鰯 鮓, 鯉	三三五八, 五九六〇	番屋六 一〇〇	二四三	六三 { 三六 二七 }
ヲ タ ス ツ	〃 桥谷栄五郎	二百十兩①	〃 〃 〃 昆布 〃	一七六五, 九八六五	一六八	三三六	五四 { 三四 二〇 }
イ ソ ヤ	〃	二百十五兩 二十兩二分	〃 〃 〃 鯡, 鱈, 昆布, 鮓, 鯉	一八六六, 五三七〇	九五	二九一	一七 { 一一 六 }
イ ワ ナ イ	〃 仙北屋仁左エ門	五百十五兩	〃 〃 〃 鯉, 鮓, 鯉, 昆布	七六一六, 五〇〇〇	二四一	五四三	五六 { 三七 一九 }
フ ル ウ	〃 福島屋新右エ門	百九十七兩	〃 〃 〃 〃 〃 〃	五八三四, 四五一九	九六	二二四	七五 { 三五 四〇 }
シヤコタン	〃 岩田屋金蔵	二百十九兩	〃 〃 〃 〃	三八六一, 〇九一〇	六一	二四三	七七 { 四四 三三 }
ビ ク ニ	〃	二百十九兩	〃 〃 〃 〃	三七六二, 八一六〇	三八	一五六	一四 { 一二 二 }
フルヒラ	〃 岡田屋半兵衛	三百九十八兩 二分	〇 〃 〃 〃 鯉	三六五九, 八五三八	九四	二七一	二四一 { 一一六 一二五 }
ヨ イ チ	〃 竹屋長左衛門	五百五十六兩	〃 〃 〃 〃 〃 〃	五〇六二, 六四六六	六〇	三一五	四九三 { 二五八 二三五 }
ヲ シ ヨ ロ	〃 西川屋徳兵衛	三百二十七兩	〃 〃 〃	四一六七, 四一八〇	八七	二三九	一二五 { 六二 六三 }
タ カ シ マ	〃	三百三十兩	〃 〃 〃 鯉	三二一五, 〇三五〇	八二	二〇六	七一 { 四一 三〇 }
ヲ タ ル ナ イ	〃 恵比須屋半兵衛	五百四十七兩 余	〃 〇 〃 〃 昆布	二四一〇七, 三一〇〇	二五二	七二四	一〇二 { 五五 四七 }
イ シ カ リ	〃 阿部屋伝四郎	千三十九兩 一分	鯉, 鱈	五八一三, 〇四七五	番屋二 ?	一二〇	六七〇 { 三二五 三四五 }
ア ツ タ	〃 浜屋与三右エ門	三百四十兩	鯉, 煎海州, 鯉	四八〇五, 〇〇〇〇余	番三 通二 藤四三	七八	四一 { 二二 一九 }
ハ マ マ シ ケ	〃 伊達林右エ門	二百六十七兩	〃 〃 〃 鮑	一三三〇, 外 ナマコ 一〇本 余 白鮑四本	番屋七 藤二 七	八一	二〇〇 { 一〇五 九五 }
マ シ ケ	〃	三百五十兩	〃 〃 〃 〃	一五二三, 三三 { 二七本 三一本 }	二二三 藤九五	八九	一三六 { 八五 五一 }
ル ル モ ツ ペ	〃 栖原六右エ門	千四十五兩	〃 〃 〃	?	三六本 ?	四〇 藤六	九〇 { 一〇五 一〇六 }
ト マ マ イ	〃		〃 鯉, 鮓, 鮑, 昆布	?	通一 番一 藤二八	二五	三七 { 五八 五一 }
テ シ ホ	〃	五百二十七兩	〃 〃 〃 〃 〃 〃	三一六, 六六, { 四〇本 }	一二 藤八	二四	二〇三 { 一〇六 九七 }
ヤンケシリ テ ウ シ	〃					二七	四三 { 二五 一八 }
ソ ウ ヤ	松前 藤野右兵衛	六百兩	煎海州, 雑魚	二六九〇, 〇〇〇〇	番六 通一六 藤七六	① 五	一九九 { 三八七 二九八 }
リ イ シ リ	〃	三百五十兩	鯉, 煎海州, 鮑, 鯉, 昆布	三〇三四, 〇〇〇〇	藤七〇 一九	一〇七	三七 { 一五 二二 }
レ プ ン シ リ	〃		〃 〃 〃 〃 〃	五六五〇, 〇〇〇〇	藤二二 八	四三	二七 { 一五 二二 }
シ ヤ リ	〃	ソウヤ共		一〇〇〇, 〇〇〇〇	通二 八	一三三	七一七 { 三九〇 三六七 }
ヲ コ シ リ	〃 荒屋新左エ門	三十二兩	?	?	?	?	?
北 蝦 夷	伊達林右エ門 栖原六右エ門	千五百六十兩	鯉, 鱈, 煎海州	?	番二七 通七 三五 藤一八五	② 二九一	二六六九 { 一三〇〇 一三六九 }

巡東小録

場所名	請負人	運上金	産物	産額(石)	小家(軒)	船(艘)	人口(人)
ヤムクシナイ	伊達林右エ門 栖原六右エ門	二百三十両	鮭, 鰯, 鮭	九一七, 七五〇〇	?	九九	三七四 { 二〇 馬 一六四
ア ブ タ	岩田屋金蔵 和田屋茂兵衛	七十五両	鮭, 鰯, 煎海州, 昆布, 布海苔, ヲツトセイ	三七二, 七九〇六	?	一八五	六〇 { 四一 ③ 三八九 六〇三
ウ ス	箱館 和泉屋宇兵衛	百五十両	鮭, 鰯, 獣皮	二五七, 二四五〇	通三	一一八	四六〇 { 二四三 二四七 五五
エ ト モ	松前 恵比須屋半兵衛	六十両	鮭, 鰯, 鮭, 鰯, 帆立, 煎海州, 昆布, 布海苔	一一一, 四〇〇〇	通五	三七	二五六 { 一二二 一三四 七二
ホ ロ ベ ツ	〃	エトモ共六十 七両二分	鮭, 煎海州, 布海苔	一四〇, 八〇〇〇	通三	二三	二五七 { 一一七 一四〇 七七
シ ラ イ	箱館 野口屋又蔵	百二十五両	鰯, 鮭, 昆布, 鹿皮	八五八, 八〇〇〇	通四	四二	三九九 { 二〇〇 一九九 六九
ユ ウ ブ ツ	松前 山田屋文右エ門	二百五十両	鮭, 鰯, 煎海州, 鹿皮	五五二七, 三〇〇〇	通九	一五八	一七八 { 五九六 半三〇 一八七 九三
サ ル	〃	二百両	鰯, 煎海州, 鮭, 昆布, 鹿皮, 厚朴	八六一, 七〇〇〇	通四	六八	一一四 { 五六〇 九六四 八〇
ニイカッブ	箱館 浜田屋佐兵衛	百五十両	鮭, 鰯, 煎海州, 昆布, 鹿皮	六九二, 五〇〇〇	通二	二六	三八六 { 一八九 一九七 七八
シ ッ ナ イ	松前 万屋専右エ門		〃 〃 〃 〃 〃	三三六八, 九〇〇〇	通二	一〇二	三八六 { 一八九 一九七 六九
ウ ラ カ ワ	〃		〃 〃 〃 〃 〃	四七九一, 三〇〇〇	通三	一一三	四四一 { 二二八 二二三 六七
シ ヤ マ ニ	〃	千十八両一分 永百文	鰯, 鮭, 〃 〃 布海 苔, 鹿河	二七八五, 〇〇〇〇	通三	五五	一七四 { 八八 八六 六七
ミ ツ イ シ	箱館 小林重吉	三百十両	鮭, 鰯, 煎海州, 昆布, 鹿皮	二三八三, 六〇〇〇	通二	四四	二二 { 一一七 一〇四 一〇三
ホロイツミ	箱館 福岡屋嘉七	六百八両	〃 〃 昆布, 布海苔, 鹿皮	七三五二, 六〇〇〇	通六	九二	一一五 { 六六 四九 六二
ト カ チ	〃	二百十両	鮭, 鰯, 昆布, 布海苔, 鹿皮	四九四四, 一〇〇〇	通一一	九四	一一七 { 五七七 六〇一 一六〇
ク ス リ	松前 米屋兵衛	五百六十両	鮭, 鮭, 鰯, 鰯, 鮭, 昆布, 布ノリ, 鹿皮	五〇三八, 〇〇〇〇	通二	一四〇	一二九 { 六四四 六五九 二二
ア ツ ケ シ	〃 山田屋文右エ門	六百両	鰯, 鮭, 昆布, 鹿皮	六七八九, 五〇〇〇	通九	八三	二一七 { 一〇 一六 九五
ネ モ ロ	〃 柏屋兵衛	二千五百両	鮭, 鰯, 煎海州, 昆布	五三四四, 四〇〇〇	通四	一七六	五八一 { 二九七 二八四 六
ク ナ シ リ	〃	五百両	鮭, 鮭, 鰯	一一九八, 七〇〇〇		② 八五	九九 { 五五 四四
	馬 乙部 八三 小茂川 六八 突荷 四七 三ツ谷 一一 蚊柱 一八 相沼内 七一 泊川 六四 熊石 五七	①慶応2寅三 月増運上七〇 八両一分	①渡船二艘を含む ②渡船四艘を含む	③富川牧 一六七 岡山牧 一二一 平野牧 八五 豊沢牧 二三〇			

四章 安政元年蝦夷地請負人，運上金等（蝦夷地目撃）

(七二三六)「蝦夷地目撃」トテ堀，村垣，巡廻ノ時ノ事ヲ記セル書也

ク ト ウ	五両	石橋屋松兵衛	博知石町
フ ト ロ	六十五両	浜屋与三右エ門	唐津内町
セ タ ナ イ	七十五両	古畑屋傳十郎	
シマコマキ	二百両	小川屋九右エ門	枝ヶ崎町
ヲ タ ス ツ	二百両	枅屋定右エ門	枝ヶ崎町
イ ソ ヤ	百八十両	〃	
イ ワ ナ イ	五百六十五両	仙北屋仁左エ門	唐津内町
フ ル ウ	百九十七両	福島屋新右エ門	〃
シヤコタン ビ ク ニ	百九十五両	岩田屋金蔵	唐津内町
フルビラ	三百五十両	恵比須屋 岡田半兵衛	大松前町
ヨ イ チ	五百六十両	竹屋長左エ門	枝ヶ崎町
ヲ シ ヨ ロ	百廿七両	住吉屋徳兵衛	小松前町
タ カ シ マ	三百二十両	〃	
ヲタルナイ	五百八十両	岡田半兵衛	

蝦夷人ヲ招シ酒四斗，葉煙廿把ヲ与フニ女共鶴ノ舞アリ

イ シ カ リ	千五百両	阿部屋伝次郎	川原町
ア ツ タ	三百二十両	浜屋与三右エ門	唐津内町
浜 マ シ ケ	二百六十七両	伊達林右エ門	〃
ホンマシケ	千五百両	〃	
ルヽモツペ	九百七十五両	栖原六右エ門	小松前町
ト マ ヽ イ		〃	
テ シ ホ	五百三十両	〃	
斜里トモ ソ ウ ヤ	六百両	柏屋崑兵衛	博知石町
リ シ リ レフンシリ	三百両	〃	
北 蝦 夷	千五百六十五両	伊達林右エ門 栖原六右エ門	
モンベツ	「柏屋持元運上屋支配人清兵衛」トアリ		
アバシリ	「柏屋持番屋」トアリ		

シヤリ	「柏屋毘兵衛支配人伴七」トアリ	
ネモロ	二千五百両	柏屋毘兵衛
アツケシ	六百両	山田屋文右エ門
クスリ	五百六十両	米屋孫右エ門
ヒロウ	二百十両	福島屋嘉七
ホロイツミ	六百三十両	

諸屋ニ出ル昆布ハ当所第一ナリ

シヤマニ	千八百十三両	萬屋専右エ門
ウラカハ	シヤマニ持	万屋持
ミツイシ	三百四十両	小林屋重吉
シツナイ	シヤマニ持	万屋持
ニイカツブ	百七十五両	浜田屋佐次兵衛
サル	二百両	山田屋文右エ門
ユウフツ	六百両	〃

蝦夷人共山獵致シ鹿ノ皮沢山出ル也 此所ニテ始テ牛ヲ見ル

タルマイ	此辺南部津軽ヨリ人來リ以テ漁致シ土地ノ運上屋ヘ役ヲ上ケ鱒鰯沢山漁致スナリ。	
シラオイ	百二十五両	野口屋又蔵
ホロベツ	三十五両	岡田屋半兵衛
モロラン	四十両	

有珠山崩レ往来止ニ付和人領鷲ノ木村迄海上十三里渡海致スナリ

モロラン 松前様勤番ニヲエナウシ台場一ヶ所

ウス 去年三月廿五日焼崩

一、駒ヶ嶽ト申高山アリ、此山ニ昔相原周防守ト申ス人馬ニ乘リテ山ニ登リ馬共ニ死セシト申ス事ナリ、故ニ此山ヲ駒ヶ岳ト申スナリ。

矢不來ト申処台場アリ

一 蝦夷地浜運上屋惣メ一万八千三百六十九両

五章 東蝦夷地明細書(蝦夷大鑑)

ヤムクシナイ	運上金	百三十両	但三百六十両ノ処当時半減ノ由申参定不致二百六十両ノ処減高申上中
フレナイ	〃	金百二両	嘉永六証文ニハ金七十五両也山焼ニ付当時七十五両
ウス	〃	金百五両	山焼ニ付当時半減
モロラン エトモ	〃	金三十両	元高六十一両ノ処近年不漁ニ付半減
ホロヘツ	〃	金三十五両	元高六十一両ノ処近年不漁ニ付減 元高六十五両ノ処近年不漁ニ付減高ニナル

安政三年松前氏^〆引繼書ニ曰、ウス百五両アブタ七五両ノ処嘉永六年山焼ニ付半方ツゝ引方申付候

第六章 松前箱館雜記卷二 (南部邸旧記)

安政元年ノ内綴込アリ

蝦夷地場所請負人

ク ト ウ	六両二分
フ ト ロ	六〇. 〇
ア ツ タ	
ス ツ ヌ	一二〇. 〇
ス ツ キ	二〇〇. 〇
シマコマキ	✓
オ タ ス ツ	四二七. 〇
イ ソ ヤ	
イ ワ ナ イ	五一五. 〇
フ ル ウ	✓ 一九七. 〇
シヤコタン	二一九. 〇
ビ ク ニ	一八五. 〇
フルヒラ	三八九. 二
オタルナイ	五七七. 二
エ ト モ	
ホ ロ ヘ ツ	一三五. 〇
モ ロ ラ ン	
ヨ イ チ	五五六. 〇
オ シ ヨ ロ	三二七. 〇
タ カ シ マ	三一〇. 〇
イ シ カ リ	一, 〇四〇. 〇
浜 マ シ ケ	二二七. 〇
マ シ ケ	一, 四五〇. 〇
ル ヌ モ ツ ペ	一, 一七五. 〇
ト マ ヌ イ	五五二. 二
テ シ ホ	
セ タ ナ イ	六五. 〇
リ イ シ リ	三五〇. 〇
レフンシリ	
ソ ウ ヤ	
シ ヤ リ	✓ 六〇〇. 〇
モ ン ヘ ツ	
子 モ ロ	三, 〇〇〇. 〇
ク ナ シ リ	一, 〇〇〇. 〇

南部邸旧記

松前 石橋屋松之亟	丕
〃 浜屋与三右エ門	
〃 山崎屋莊兵衛	
〃 小川九右エ門	余
〃 舩屋栄五郎	田
〃 仙北屋仁左エ門	兪
〃 福島屋新左エ門	丁
〃 岩田金蔵	岩
〃 岡田半兵衛	〃
〃	〃
〃 竹屋長左衛門	全
〃 住吉屋徳兵衛	田
〃 阿部屋傳八郎	吉
〃 伊達林右エ門	
〃 栖原六右エ門	
〃 古畑屋傳十郎	
〃 柏屋崋兵衛	丕

嘉永六年 二, 五〇〇
五百両減
〃 五〇〇

大	嶋		三. 〇
小	嶋		
オ	コ	シ	リ
			三二. 〇
カ	ラ	フ	ト
	✓	一,	五六〇. 〇
ヤ	ム	ク	シ
	✓	一三〇. 〇	〇
エ	ト	ロ	フ
	✓	一,	〇〇〇. 〇
エ	ト	モ	
ホ	ロ	ヘ	ツ
			六七. 二
ア	ブ	タ	✓
			七五. 〇
ウ		ス	✓
			一〇五. 〇
シ	ラ	ヲ	イ
	✓	一二五. 〇	
ユ	ウ	フ	ツ
	✓	二五〇. 〇	〇
サ		ル	
			二〇〇. 〇
ア	ツ	ケ	シ
	✓	六〇〇. 〇	〇
ニ	イ	カツ	プ
	✓	一五〇. 〇	
ミ	ツ	イ	シ
			三一〇. 〇
シ	ツ	ナ	イ
ウ	ラ	カ	ワ
	✓	一,	四一八. 二
シ	ヤ	マ	ニ
ホ	ロ	イツ	ミ
	✓	六〇八. 〇	
ト	カ	チ	
	✓	二一〇. 〇	
ク	ス	リ	✓
			五六〇. 〇

ㄱ 壹万八千九百四十五兩貳分

〃	泊川町	長左エ門	
松前	荒屋	要右エ門	
〃	伊達林	右エ門	×
〃	栖原	六右エ門	㊦
箱館	和田屋	茂兵衛	㊦
	家内場所ニ引越		
〃	和賀屋	宇兵衛	ㄱ
〃	野口屋	又藏	㊦
〃	山田屋	文右エ門	ㄱ
〃	浜田屋	佐次兵衛	ㄱ
〃	小林	重吉	ㄱ
松前	萬屋	専右エ門	ㄱ
箱館	福嶋屋	嘉七	
松前	米屋	孫右エ門	

七章 東西蝦夷地場所請負人運上金調（北海道風土記卷十六）

慶応年間ノ元運上金
ヲ参考ノタメ記ス
三十兩一分
開拓使書類及漁業志
要ハ荒屋新右エ門ト
ス

（北海道風土記卷十六）「此調ハ安政」「〇八幕領」

式百兩	奥尻	三十五兩	㊦	荒屋新左エ門	
	久遠	六兩二分	万	石橋屋松兵衛	
	太櫓	五十兩	三	浜屋与三右エ門	姓平田
	厚田	百九十兩	三	同	
	瀬田内	六十五兩	全	古畑屋伝十郎	
式百兩	嶋小牧	百兩 二百兩？	余	小川屋九兵衛	
	寿都	九十二兩	又	山崎屋新八	姓田村
	歌棄	二百十兩	田	升屋栄五郎	姓佐藤
元運上百三十七兩 秋味運上五十五兩	磯谷	百三十七兩	田	同	
五百十五兩	岩内	四百六十五兩	兪	仙北屋仁左エ門	姓佐藤
百九十七兩	古宇	九十七兩	丁	福嶋屋新右エ門	姓田村
	積丹	百九十五兩	岩	岩田金蔵	
五百卅三兩	上余市	三百四十三兩	全	竹屋長左衛門	姓林
	下余市	百九十兩			
	忍路	二百九十七兩	田	西川徳兵衛	
	○根室，長万部 遊樂部扱捉	千兩 増金五百兩	北	伊達林右エ門	
			栖	栖原半六	
	山越内	百三十兩	北	同	
			栖	同	
	○国後	千兩 永百文 増五百七十兩	栖	栖原半六	
二百兩	美国	百七十兩	岩	岩田金蔵	
	○根室 西別	三千兩 根室増金九百十八 兩一分半高五百兩	丂	藤野崙兵衛	
	三石	三百十兩 増金二百三十五兩	ろ	小林屋重吉	
	○新冠	百五十兩 増金十三兩	一 〇	浜田屋与次兵衛 井口兵右エ門文化度ヨリ御用達	
	白老	百七十一兩 増七十五兩	㊦	野口屋又蔵	
	釧路	五百六十六兩 増二千二百兩	※	米屋崙代作	姓佐野
	様似，浦河 静内	千四十八兩 増二千五百兩	サ	萬屋専左エ門	姓佐野
	○厚岸	六百兩 永百五十文 増四千七百五十兩	畝	箱館弁天町 山田屋文右エ門	

高倉新一郎「蝦夷地各場所請負人運上金調」(Ⅲ)(大場四千男)

	沙流	二百両	増百廿五両	畚	同	
	勇払	二百五十両	増四千七百五十両 永百五十文	畚	同	
	○十勝	三百両二分	増千五百両	⊕	箱館内潤町 杉浦嘉七	福島屋
	幌泉	八百八両	増三千八百五十両	⊕	同	
	有珠	百五両		△	和賀屋宇兵衛	
	虻田 禮文華	七十五両		△	和田屋茂兵衛	
	幌別, 室蘭 江登茂	七十五両			岡田半兵衛	
元運上二百十三両 鮭冥加九十五両 鱒冥加廿二両二分 ノ三百三十両二分	高島	二百十三両		□	西川徳兵衛	
	小樽内	三百七十両	慶応元ヨリ増千両		岡田半兵衛	
三百八十両 秋味運上百二十両 加ヘシモノカ	古平	二百六十両			同	
	○石狩	千両		㊦	阿部屋伝兵衛	姓村山
先買百五十両 踏買百十両	浜増毛	百五十両		×	伊達林右エ門	
運上千百両 夏場運上五十両 秋味運上百二十両	増毛	千百両		×	同	
運上千円 鱒場運上二十七両隔 年納	留々前 苦前	九百両		×	同	
	天塩	三百五十三両		㊦	栖原半六	
	天売 焼尻	百五両		㊦	同	
	バックイ, ノシャップ 利尻, 礼文尻	三百三十四両		㊦	藤野毘兵衛	
			元治元年ヨリ		山寺権兵衛	
			慶応元年ヨリ		山田屋佐兵衛	
	宗谷, 紋別, 紗里 網走, 知床	六百両		㊦	藤野毘兵衛	
	唐太	千六十両		㊦	伊達林右エ門	
				㊦	栖原半六	

総計六十一ヶ場所

運上金合一萬八千八百七十六両

増金合一万七千四百三十六両一分

北地増金合一万三千両

總合金四万九千三百十二両二分

公領合金一万三千八百八十三両二分

八章 東西蝦夷地運上金比較

年次		東蝦夷地	西蝦夷地	計	備考
天明四年	天明四年御収納 御取立目録	藩主直領 両 六六〇. 二〇	両 三, 五三九. 二〇	両 四, 二〇〇. 〇〇	直領ノ分ノミ
寛政	西蝦夷地分間		四, 四三〇. 〇〇		
寛政八年九月	和田郡司日記	家臣ノ分 一, 八一五. 二〇	三, 七〇五. 〇〇	五, 五二〇. 二〇	家臣ノ分ノミ
	天明四年直領ト寛政八年家臣 給料ノ分トノ合計	二, 四七六. 〇〇	七, 二四四. 二〇	九, 七二〇. 二〇	此外上乘金冥加金 献上差荷等アリ
文化十年 (九月九日入札)	函館問屋儀定書 伊達旧記	一七, 一九六. 一〇 七〇一〇三文 一七, 三三四. 三〇 一六二五文			此外高田屋請負ノ 扱捉アリ
寛政十一年正月	松前道広呈出	家臣一, 七二一. 一〇 直領一, 五〇〇. 〇〇			
文政三年	函館問屋儀定書	一三, 三四四. 一〇 此内扱捉二千両			
文政五年	文政五年東西蝦 夷地運上調書 (伊達旧記)			二二, 四〇九. 一〇 二二〇文	外三割一分年賦 其外ニテ定式ニア ラズ
文政	文政年間東西蝦 夷地運上金調	九, 八七一. 〇二〇 四八文	一一, 八七八. 一〇	二一, 七四九. 三〇 二二〇文五	
天保	蝦夷租金録			一九, 九六六. 三〇 一. 〇〇文	
天保十二年	蝦夷租金	九, 六一三. 〇〇 一〇〇	一〇, 六八八. 三〇	二〇, 三〇一. 三〇 一〇〇	
全	全	九, 六一三. 二〇 一〇〇	一〇, 七五一. 二〇 一〇〇	二〇, 三八三. 〇〇	
安政元年	蝦夷地日撃 松前箱館雜記			一八, 三六九. 〇〇 一八, 九四五. 二〇	

九章 東西蝦夷地各漁場請負ニ関スル件(万延)

一 各漁場冥加金上納ノ賦課地割ノ調

下ニ掲クル所ハ万延二年各場漁請負年季明ニ付同請負人ヨリ更ニ七ヶ年継続ノ出願シ許可ヲ得タルニ由リ冥加トシテ玄米三千俵(一ヶ年六百俵ツヽ五ヶ年賦)献上セルモノヽ各請負地割賦高ナリ

一 金九千四百二十八両三分ト永百文

此米二千九百九十八俵九分八厘

内訳 東西請負持

金七拾八両	(此米二十三俵 八分六厘)	虻 田 和田茂兵衛
金百五拾両	(此米四十七俵 七分三厘)	新 冠 浜田屋佐次兵衛
金五百六拾両	(此米百七十八俵 一分八厘)	釧 路 米屋崙代作
金千四十八両 ト永六百文	(此米三百三十三俵 六分三厘)	静 内 万屋専右エ門 浦 川 似 様
金百五両	(此米三十三俵 四分六厘)	有 珠 和賀屋宇兵衛
金四百五十両	(此米百四十三俵 一分八厘)	沙 流 山田文右エ門 勇 弘
金六百八両	(此米百九十三俵 四分五厘)	幌 泉 梶浦嘉七
金百三十両	(此米四十一俵 三分六厘)	ヤムクシヤナイ 伊達林右エ門 紗 那
金百三十両	(此米四十一俵 三分六厘)	全 栖原六右エ門
金三百十両	(此米九十八俵 六分三厘)	三 石 小林屋重吉
金四両二分	(此米一俵 四分四厘)	絵 鞆 恵比須屋平兵衛

合金三千五百七十一両ト永六百文

合米千百三十六俵二分二厘

西地請負持

別海	別 海
金百十両	網 走
網走	
金百五十両	藤野崙兵衛
合金二百六十両	(此米八十二俵 七分二厘)

金六百両二分	(此米二俵 七厘)	久 遠	石橋屋松兵衛
太櫓 金五十両		太 櫓 原 田	
原田 金三百二十両			浜屋与三右エ門
金三百七十両	(此米百十七俵 七分二厘)		
歌棄 金二百十両		歌 棄 磯 谷	
磯谷 金二百両二分			佐藤右エ門
合金四百十両二分	(此米百三十俵 六分一厘)		
金六十五両	(此米二十俵 六分八厘)	セタナイ	吉畑屋傳十郎
金五百十五両	(此米百六十三俵 八分六厘)	岩 内	仙北屋仁右エ門
金百九十七両	(此米六十二俵 六分八厘)	古 宇	福島屋新右エ門
積丹 金百九十六両		積 丹 美 国	
美国 金二百両			岩田屋金蔵

冥加金ノ名称ハ幕府ニテ蝦夷地ヲ支配セルトキ始マレリ初メ各漁業ノ祝或ハ御見舞杯ト称シテ漁獲ノ魚類ヲ贈進セルカ後魚類ヲ代価ニ見積リ限金ヲ贈進スルコトナレリ松前藩ニ於テハ漁場出張ノ役人出張手当等給与セサル故ニ該進上金ヲ以テ自然手当ト見做シ松前藩モ又之レヲ黙許ニ付セシコト既ニ久シキヲ以テ何漁場ノ進上何両トテ遂ニ定例トナルニ至レリ是定例ノ旨趣書ヲ松前藩ヨリ幕府ニ引継キタルニ幕府ハ之ヲ冥加金トシテ公然徴収セリ

- 二 各漁場請負年限ヲ七ケ年ト定メタル起源。請負年限ヲ七ケ年ト定メタルハ松前藩ニシテ幕府ノ時ニ至ルモ変更ナカリシ此年限満十期ニ至ラントスル時ハ請負人カ望ム所ノ問屋ヲ保証人ニ立テ松前藩ニ出願スルヲ例トス。此問屋が保証人トナルハ各漁場ノ豊凶ニ拘ハラズ課税サシタル運上金ヲ若請負人ニ於テ怠ルトキハ代ツテ納ムルノ義務ヲ負フモノナリ。此義務ヲ尽スカ為メニ請負人ノ保証ニ立チタル場合ハ大概生産物ノ積荷ヲ指揮スルナリ若シ保証ニ立チタル問屋ヨリ産物ヲ積取ラントスルトキハ断リ問屋（保証人ニ立チタル問屋ヲ指ス）ヘ示談シテ二分五厘ノ口銭ヲ分配スルコトモアリ
- 三 各漁場豊凶ニ依リ收穫物ニ増減アル時運上金之増減 各漁場豊凶ニ依リ收穫物増減ノコトハ予メ官ノ許可ヲ受ケシコトナシ。又運上金ハ收穫ノ増減ニ依リ差異アルニアラス甲場所何程乙場所何程ト定メタルモノナリ。今其一例ヲ挙クレハ三石場所（三石場所トハ小林重吉ノ所

有場所ニシテ有名ノ昆布ヲ採取スル鰯ト称スル鰯及鮭ヲ收穫ス)ノ運上金ハ一ケ年三百十兩ノ規定ニシテ收穫豊凶ニ從テ増減アルニアラス場所請負人ハ運上金ノ外ニ運上金高ノ二分ヲ其土地ノ町会所ヘ納ム町会所ハ其二分ヲ以テ米穀ヲ購入シ不時ノ備ニ貯ヘリ各漁場收穫物ヲ福山江差函館等ニ輸送シ御口錢ヲ納メ運上金ハ各産地ニ於テ上納ス函館福山ハ重ニ請負人ノ居住地ナルカ故ニ同地ニテ運上金ヲ定納スルノ定例ナリシモ其後産地ニ於テ便宜上納スルノ許可ヲ受ケタリ

- 四 各漁場ノ請負人ノ仕入金ニ付自金又ハ借金ノ區別 仕入金自資モアリ又借金モアリト雖モ維新前ハ自資ヲ以テ仕入ヲ為ス者多カリシヤニ思ハル
- 五 漁夫ノ雇入及ビ其手当金維新前漁夫ハ重ニ土人ヲ用土人ハ半人同様ニシテ其給料一ケ月三貫五百文(壹兩八貫八百文)ヨリ一貫五百文トス和人漁夫ハ一ケ月給料金七兩二分ヨリ三兩二分の間ニアリ其使役季節ハ三月ヨリ十月マテニシテ昆布採取鰯鰺ノ収漁に従事セシム渾ニ漁夫ノ食料ハ雇主ヨリ給与ス
- 六 各漁場ノ請負人ハ共同一致意見ヲ共ニセル場合及ヒ独立ノ營業漁場請負人ノ共同一致資金ヲ合セテ營業セシモノハ伊達栖原アルノミニシテ其他ハ自立營業セシモノヽ如シ
- 七 收穫物品売捌手続ノ二三類例

請負人ハ漁場に於テ收穫シタル物品ヲ其船ニ搭載シ帆養積ニテ函館ヘ輸送ス問屋ハ其積來ル船主ト請負人間ニ立入直段ヲ取極タ其船主ハ売渡ス若直談合ハサルトキハ陸揚ケ蔵入シテ請負人ヨリ運賃ヲ支払フ然レトモ船主ハ産物ヲ購求スルノ目的ナルヲ以テ直段折合ハス売買破談ニナルモ甚タ稀ナリ又漁場ニ收穫シアル産手買付ケ積取ルモノアリ此場合ニ於テハ問屋ハ請負人ト船主トノ間ニ立入直段ヲ取極メ船主付荷物代金ヲ支払ヒ請負ノ荷物切手ヲ携帯産地ヘ解纜シ切手ト荷物ヲ引換ヘ若買付約定ヨリ荷物不足スルトキハ帰帆ノ上請負人ヨリ不足荷物代金ヲ取戻ス收穫物品手続ハ概ツテ此ノ様ニ外ナラサレハ別ニ類例ヲ挙ケサルモ可ナラン。

十章 御用控 (福山町鈴木忠美記録)

一、北蝦夷地 伊達林右エ門 栖原六右エ門 宿 阿部屋茂兵衛
安政元御引上御直支配之處、翌年元成御達
但出口錢壹分方ハ八十八仕分之義、嘉永五年正月被仰仕候
(山形屋西谷八十八)

嘉永六年ヨリ向七ヶ
年季浜屋受負被仰付

一、アツタ 浜屋与三右エ門 宿 広島屋布右エ門
工藤庄兵衛
西谷八十八
元宮川増蔵受負之處嘉永五年与三右エ門江被仰付

一、御直差配御用達

イシカリ 住吉屋准兵衛
岩田屋金蔵
萬屋増蔵

同出張稼 阿部屋伝次郎

同マクンベツ出稼 石田屋利左エ門

右利左エ門同所江家内引越ニ付当所氏は泊川町敦賀屋茂左エ門へ被仰付候

石狩は元伝次郎受負之處安政五年箱館御直捌ニ相成伝次郎茂同所出稼被仰付候段
箱館へ御達

戊年嘉永三年
其前ハ天保九年

一、シマコマキ 小川屋九右エ門
元一丁之處戊年御引上 (一丁は福島屋新右エ門ノ家号)

一、スツキ 小川屋九右エ門

一、フトロ 浜屋与三右エ門

一、クトウ 石橋屋松兵衛

一、オコシリ 新屋新左エ門 (新谷トモ荒屋トモアリ)

一、大島小嶋 伝治沢町
長右エ門

一、ユウフツ 山田屋文右エ門 宿 京屋吉左エ門
チ ト セ 近江屋忠左エ門

文久二戌年正月へ太と両家扱ニ相成ル
(京屋吉左エ門ノ家号)

十一章 文久元年請負人及請負金

東地請負

請負金	場所	請負人
七五両	アブタ	和田屋茂兵衛
一五〇両	ニイカツブ	浜田屋佐次兵衛
五六〇両	クスリ	米屋崋代作
一, 〇四八両ト永六百文	シツナイ, ウラカワ シヤマニ	万屋専右エ門
一五〇両	ウス	和賀屋宇兵衛
四五〇両	サル ユウフツ	山田文右エ門
六〇八両	ホロイツミ	杉浦嘉七
二六〇両	ヤムクシナイ シヤナ	伊達林右エ門 栖原六右エ門
三一〇両	ミツイシ	小林屋重吉
四両二分	エトモ	恵比須屋半兵衛
三, 五七一両ト永百文	合計	

西地請負

請負金	場所	請負人
一一〇両	ハツカイ	藤野崋兵衛
一五〇両	アハシリ	
六両二分	クトウ	石橋屋松兵衛
五〇両	フトロ	浜屋与三右エ門
三二〇両	アツタ	全
六五両	セタナイ	古畑屋伝十郎
二一〇両	ヲタスツ	
二〇〇両二分	イソヤ	佐藤栄右エ門
五一五両	イワナイ	仙北屋仁右エ門
一九七両	フルウ	福島屋新右エ門
一九六両	シヤコタン	
二〇〇両	ビクニ	岩田金蔵
三八〇両	フルピラ	
五〇七両	オタルナイ	恵比須屋半兵衛
五三三両	ヨイチ	升屋長右エ門
二九七両	ヲシヨロ	
三三〇両二分	タカシマ	住吉屋准兵衛
一, 五六〇両	北蝦夷地	伊達林右エ門 栖原六右エ門
三〇両一分	ヲクシリ	荒屋新右エ門
五, 八五七両三分	合計	
九, 四二八両三分ト永百文	東西総計	

十二章 慶応元丑年六月 東西蝦夷地運上金増金並御用金控

東西蝦夷地御運上増金並御用金控

オシヨロ運上家

(札幌県勧業課漁場請負人履歴ノ中ニアリ第一文庫, 勸業課, 7 冊番号四二)

元治元年御料地御役所御進上増金

子年増金

ユウフツ寅年 増金一千兩	✓ 一金三千八百五十兩	ホロイツミ	函館	⊕印	杉浦嘉七
	✓ 一金一百二十五兩	サ ル ユウフツ	函館	畚印	山田屋文右エ門
	✓ 一金五百三十五兩	ミツイシ	函館	る印	小林屋重吉
幕領子年 増金、二三三兩 一〇、二三三兩	一金二千五百兩	シツナイ シヤマニ ウラカワ		サ印	萬屋専右エ門
	一金貳千二百兩	クスリ		※印	米屋孫右エ門
	一金拾三兩	ニイカツフ	函館	〇印	〇印ハ問屋浜田屋兵右エ門 商号也
	一金壹千兩	ヲタルナイ	〓印		岡田半兵衛

右之通表御白洲ニ於テ子五月廿三日頃被仰出候事

仙台様御領地御運上増金

子年増金

卯年増金 三百兩	一金一千五百兩	トカチ	函館	⊕印	
	一金四千七百五十兩	アツケシ	函館	畚印	
一萬四千七百五十兩 辰年千五百兩減 三千二百五十兩トナル	✓ 一金五百兩	卯年更ニ 千三百兩増	エトロフ	函館	北印 伊達林右エ門
	✓ 一金五百七十兩三分 永四百文	クナシリ		𠄎印	藤野崑兵衛
	✓ 一金五百兩	卯年更ニ 千七百兩増	子モロ	𠄎印	

仙台藩元治子年増運
上料、八、
七、八九五兩
慶応二卯年増

但シ持分丈之所ニテ如此

会津様之領分なし

三、〇〇〇
計一〇、八九五

一金七十五兩	シラヲ井	函館	⊗印	野口屋又蔵
--------	------	----	----	-------

右之通子六月差入頃ヨリ御助法に相成候得共只今確と相極り候不二

函館御役所御用金之事

一金二千三百兩	ヲシヨロ タカシマ	田印		西川徳兵衛
---------	--------------	----	--	-------

高倉新一郎「蝦夷地各場所請負人運上金調」(Ⅲ)(大場四千男)

一金一千五百両	ヒ ク ニ シヤコタン	㊦印 岩田金蔵
一金壹千両	フルヒラ	Ⅱ印
一金壹千両	ヨイチ	全印 竹屋長左エ門
一金七百両	フルウ	㊦印 福島屋新右エ門
一金五百両	アツタ	三印 浜屋与三右エ門
一金四百両	イワナイ	兪印 仙北屋仁左エ門
一金三百両	イ ソ ヤ ウタスツ	田印 杵屋榮五郎
一金拾両ヾ		全印 古畑屋伝十郎
		又印
		万印

以上御用金
合計
七、七三〇両

右之通

西蝦夷地運上金増金割合

✓ 一金七百八両一分	ヲタスツ	田印
✓ 一金八百七十八両二分	イソヤ	田印
✓ 一金一千二百九十九両二分	イワナイ	兪印
✓ 一金壹千七百二十両一分	フルウ	㊦印
✓ 一金貳千百廿六両二分	ヨイチ	全
✓ 一金参千二百五十六両一分	フルヒラ	Ⅱ印 秋 ⁶ 種田
✓ 一金一千六十七両二分	ヒクニ	㊦印
✓ 一金一千三百一両二分	シヤコタン	㊦印
✓ 一金一千七百十三両三分	ヲシヨロ	田
✓ 一金一千拾五両	タカシマ	田
一金一千九百十二両二分	アツタ	三印

一分或ハ三分トス

古平ハ慶応二年岡田
半兵衛ヨリ有川村種
田徳之丞外二名へ譲
渡ス

ノ拾壹料

右之通り御割合ニ相成申

慶応二年寅貳月

慶応二年夏定ム増運上オコシリ二十両, クトウ四十五両, フトロ廿五両, セタナ
イ卅五両 (計一二五両)

以上合計
一七、〇〇〇
奥尻ヨリ瀬棚迄四場
所一二五
沙流勇弘
一、〇〇〇
ノ一八、一二五

十三章 東西蝦夷地運上金増運上金仕向金其外上納金控書 (豊嶋三右エ門履歴)

東蝦夷地之分

「豊嶋三右エ門履歴」
慶応元年佐野家ノ命
ヲ受ケ虻田ニ赴キ明
治三年釧路ニ帰ル

御料

一金五十五両

御運上金

アブタ
請負人

一金十一両永五十文

仕向金

佐野孫右エ門
成田和田磯右エ門



南美濃守分

一金十九両二分

御運上金

レブンゲ
同

一金一両二分永卅一文八分

別段上納

同 人



一金百五両

御運上金

ウス
請負人

一金十四両三分永五十文

仕向金

和賀屋権一郎



南部領

エトモ十八両
ホロベツ四十五両

一金六十三両

エトモ
ホロベツ

御運上金

エトモ
ホロベツ 請負人

エトモ四両
ホロベツ九両三分
永五十文

一金十三両三分永五十文

〃

別段上納

(半兵衛代
恵比須屋 徳之亟(姓ハ種田)



御料

一金四両二分

御運上金

モロラン
請負人

一金一両

別段上納

同 人



仙台様御領分
シラオイ

一金百二十五両	御運上金	シラオイ 請負人
一金四十六両一分	仕向金	野口屋又蔵
✓ 一金七十五両	子年 増御運上金	
✂		
一金貳百五十一両	御運上金	ユウフツ 請負人
一金三百廿三両二分永九十八文三分	仕向金	山田文右エ門
✓ 一金千両	寅年 増御運上金	
✂		
一金貳百両	御運上金	サル 同
一金四十二両一分永百五十文	仕向金	同 人
一金百二十五両	子年 増運上金	
✂		
一金百五十両	御運上金	ニイカツブ 請負人
一金三十七両	仕向金	井口佐次兵衛 浜田屋
✓ 一金十三両	子年 増御運上	
✂		
一金三百十両	御運上金	ミツイシ 請負人
一金八十八両三分永五十文	仕向金	小林重吉
✓ 一金五百三十五両	子年 増御運上	



一金千四拾八両二分永百文	御運上金	シヤマニ ウラカワ シツナイ
一金三百二十三両三分永二百廿二文	仕向金	請負人
✓ 一金二千五百両	子年 増運上	(佐野専左エ門 萬屋



一金六百八両	御運上金	ホロイツミ 請負人
一金百五十九両永百文	仕向金	杉浦嘉七
✓ 一金三千八百五十両	子年 増御運上金	



仙台様御領分		
一金二百十両	御運上金	トカチ 同
一金九十両二分永百五十文	仕向金	同 人
一金千八百両	子年増運上 卯年 同	千五百両 三百両



一金五百六十両	御運上金	久寿里 請負人
一金百二十九両二分	仕向金	佐野孫右エ門
✓ 一金二千二百両	子年 増運上	



仙台様御領分		
一金六百両	御運上金	アツケシ 請負人
一金百三十六両三分永百七十文	仕向金	山田文右エ門
一金四千七百五十両	子年 増御運上金	

諸大名領分場所運上
記(四六三)二ノ八永
百五十文

三千二百五十兩

辰年七月朔日依願千五百兩減少残二千二百五十兩トナル



仙台様御領分

一金八百兩

御運上金 子モロ
請負人

一金百十八兩一分永百五十文

別段上納 藤野喜兵衛

一金五百兩

子年
増運上

一金千七百兩

卯年
増運上



一金五拾兩

シイシヨ
ユ ウ ル 御冥加金
アキルゝ

同領

一金五百兩

御運上金 クナシリ
請負人

一金五百七十兩三分永四百文

子年
増御運上 藤野喜兵衛



同領

一金八百七十兩

御運上金 エトロフ
請負人

一金二百二十五兩一分永八十文

別段上納 伊達林右エ門

一金五百兩

子年
増運上 栖原半六

一金千三百兩

卯年
増運上



御料

一金百三十兩

御運上金 エトロフ内シヤナ
請負人

一金三十三兩二分永百七十文

仕向金 伊達林右エ門
栖原半七



会津御領分

一金千七百両	シベツ 御運上金	子モロ
一金二百五十一両永六百文	別段上納	会津会所
一金六千両	増運上金	
金三千両	御運上金	山田壽兵衛

当春御請負被仰付候節右之通減少ニ相成ル



一金百両	御冥加金	シコタン外島々 升屋重三郎
------	------	------------------

御運上金増御運上金其外上納金

ノ金三万五千九百五十三両永六百六文七分

仕向金

ノ金千九百両三分永尅ノ九百七十文四分

会計

金三万七千八百七十両一分永二貫五百七十七文一分

西蝦夷地之分

一金六両二分	元運上金	クトウ 請負人
一金四拾五両	増運上金	石橋屋松兵衛
一金一両三分永百文	仕向金	



一金五十両	元運上金	フトロ 請負人
一金二十五両	増運上金	(平田与三右門 浜屋
一金十一両永百文	仕向金	



一金三百二十両	元運上金	アツタ 請負人
一金二十二両	差荷料	同 人

一金千九百十二兩二分
 一金二百廿九兩一分永二百廿四文

増運上金
 仕向金



一金六拾五兩
 一金三拾五兩
 一金拾八兩二分

元運上金 セタナイ
 請負人
 増運上金 古畑傳十郎
 仕向金



一金二百十兩
 ✓ 一金七百八兩一分
 一金七十四兩

元運上金 ヲタスツ
 請負人
 増運上金 佐藤栄右エ門
 仕向金

漁業志要
 別段運上金
 五十五兩二分



一金五十五兩
 一金百三十七兩
 一金五兩
 一金十三兩
 一金七兩
 ✓ 一金八百七十八兩二分
 一金五十五兩二分

秋味運上金
 元運上金 イソヤ
 請負人
 雑魚運上 同 人
 差荷料
 上乘金
 増運上
 仕向金

運上並差荷料上乘金
 等合計二百十七兩

漁業志要
 別段運上金七十四兩



一金五百十五兩
 一金千二百九十九兩二分
 一金百六十兩三分永十一文三分

元運上金 イワナイ
 請負人
 増運上金 (佐藤仁左エ門
 仙北屋
 仕向金



一金百九十七兩

元運上金 フルウ
 請負人

漁業志要
百九十五兩運上金
一両 海軍引

一金千七百廿兩三分

増運上金 (田村新右エ門
福島屋

一金百十三兩一分永四十四文

仕向金

↗

一金百九十七兩

元運上金 シヤコタン
請負人

一金千三百一兩二分

増運上金 岩田金蔵

一金七兩

上乘金

一金十六兩

差荷料

一金百四拾六兩一分

仕向金

↗

一金二百兩

元運上金 ビクニ
請負人

一金千六十七兩二分

増運上金 同 人

一金十五兩

差荷料

一金百三十三兩一分永九十文

仕向金

↗

一金三百八十兩

元運上金 フルヒラ
請負人

一金九兩二分

差荷料 (岡田半兵衛代
恵比須屋

一金三千二百五十六兩一分

増運上金 徳之亟

一金百六十八兩二分永二百卅一文一分

仕向金

↗

一金五百三十三兩

元運上金 上ヨイチ
下ヨイチ
請負人

一金五兩

上乘金

一金十一兩

差荷料

一金貳千百廿六兩二分

増御運上

一金百八十七兩永二百四十九文六分

仕向金

竹屋長左エ門



一金二百九十七両	元運上金	ヲシヨロ 請負人
一金三十両	差荷料	西川准兵衛
一金千七百十三両三分	増運上金	
一金百十九両永百三文	仕向金	



一金三百卅両二分	元運上金	タカシマ 請負人
一金七両二分	上乘金並 鱒場金共	同 人
一金十二両	差荷料	
一金千拾五両	増御運上金	
一金百八十三両永二百五文五分	仕向金	



一金三拾両壹分	元運上金	オクシリ 請負人
一金一両三分	差荷料	荒屋新左エ門
一金二十両	増運上	
一金一両二分永百六十二文	仕向金	



一金百五十両	御運上金	アバシリ 請負人
一金卅六両永百十二文	仕向金	藤野崋兵衛

元シヤリ御場所運上金ニ相籠リ居候処申年^ノ会津家之領分ニ御割渡ニ改而如此



一金五拾両也	御運上金	サンナイ 同
一金廿八両三分永百九十文二分	仕向金	同 人

元宗谷御場所運上金へ相籠リ居候処申年^ノ秋田家へ御割渡ニ付改而如此



一金百拾兩	御運上金	ソウヤ之内 ^{ハツカイ} ノツシヤフ
一金百四十兩	御運上金	ソウヤ ^カ 紋別迄之内サンナイ 分相除キ
一金三百卅四兩一分	御運上金	リイシリ, レフンシリ
一金十三兩	上乘金	同
一金貳兩三分	差荷料	同

ノ金六百兩也

一萬百四十四兩二分 ト永百文八分	一金六拾三兩永六百六十八文七分三リ	仕向金	ハツカイ ノツシヤフ
	一金八十一兩永卅二文四分三リ	仕向金	ソウヤ ^カ モンヘツ迄之内サン ナイ分除キ
一萬百二十一兩一分 永百廿八文五分	一金百廿一兩永百七十八文五分	仕向金	リイシリ, レフンシリ

ノ金二百六十六兩永七十九文三分

又金二千五百九拾八兩永二百三十七文九分
 ソウヤ, リイシリ分
 合金二千四百六拾四兩永三百十七文貳分

元高へ三倍增
寅年被仰付候

運上金増運上金其外上納金

ノ金貳萬五千九百七十二兩永二百三十七文九分
 仕向金
 ノ金千九百三拾二兩一分永二貫六百九十八文六分
 合計
 金二萬七千九百四兩一分永二貫九百卅六文五分

東西惣合金

ノ六萬五千七百七十四兩二分永五百十三文六分

十四章 補遺（實行寺開基録・函館市在並ニ東西蝦夷地上納金）

四七四番ノ書
實行寺開基録
函館市在並ニ東西蝦
夷地上納金

元治元年又ハ
慶応ノ調也

百五十兩ヲ五十兩ト
為スモノアリ

前書オタルナイ以北多ク欽クル所アルヲ以て道庁第一文庫番号四七四ノ書籍ニヨリ
茲に神フテ参考ニ供ス但此分亦増運上金等ニ欽クル所アリ

一金五百四十七兩一分	運上金，上乘金， 鱒場上乘金差荷物料	オタルナイ場所
一金千兩		恵比須屋半兵衛
一金四百八十四兩二分余		

一金貳千五百兩 但秋味八千石目当	御収納金目当時	石狩御直領
---------------------	---------	-------

一金三百八拾二兩	運上差荷物料	アツタ場所
一金二百二十九兩一分永二百二十四文	別段上納金	浜屋与惣右エ門
一金百五拾兩（先買）		浜マシケ場所
同 百 十 兩（後買）		伊達林右エ門

一金五拾兩	運上金	サンナイ場所
一金二十八兩三分永百九十文二分	別段上納金	藤野崑兵衛

一金百五十兩	運上金	アハシリ場所
一金三十六兩永百十二文	別段運上金	右同人
一金千五百六十兩	運上金	北蝦夷地 伊達林右エ門
一金五百五十五兩	別段上納金	栖原角兵衛

御場所
東地ワアレー一ヶ所 西地クシュンナイ一ヶ所
御直場所
東地

アイロツワ	トマナイチカ	キテヨツホカ	ウエンコタン
コヌシヘツ	キフツサキ	シエマコタン	アンナチイ
エヌシヘツ	シヨウンナイ	ロレイ	シシヨウンナイ
ナイフツ	シルウトル	キタサン	ヘケレ
ホルナイ	シラリヲロ	マアヌイ	ワアレー

フレツ シツカ

西地

ヲヲツコル トムンナイ シラヽチロ クシンナイ
 コモシラヽ エトンネナイ エヒシ ルウクシナイ
 ヲタシ

佐竹右京太夫領分 マシケ

酒井左エ門尉領分 浜マシケ

一金百五十両	浜マシケ運上金	伊達林右エ門
一金百十両	マシケ運上金	
一金千百両	マシケ夏場並秋味	
一金五十両	マシケ海舩引	
一金百二十両	マシケ鱒場	
一金四十八両	鯡網冥加金十六艘分	
一金百二十六両	網四十二艘分	
秋味目当高四 ^〇 千石外同断		
一金三百九十一両三分余	マシケ別段上納	
一金七十四両	浜マシケ同断	

酒井左エ門尉領分 ルヽモツヘ
 テ シ ヲ

一金千両	ルヽモツペ 運上金	栖原六右エ門
一金二十七両	鱒場並網釜冥加金隔年納	
一金三百五十三両	テシヲ運上金	
一金十八両	テシヲ鯡網冥加金	
一金百二十六両	ルヽモツペ 同断	
一金百五両	テ ウ シ 海舩引	
一金十二両	鯡網 トマヽイ分	
一金三十七両	テシヲ	
秋味目当高三 ^〇 千石外同断		
一金三百五十九両一分余	別段上納金	

佐竹右京太夫領分 ソウヤ
シャリ

一金六百両	運上金	柏屋崙兵衛
一金二百四十五両三分余	別段上納金	
秋味目当高三千石目外同断		
一金二十一両	鯿網七艘分	

佐竹領 リ イ シ リ
レフンシリ

一金三百三十四両一分	運上金	柏屋崙兵衛
一金十三両	上乘金	
一金二両三分	差荷物料	
一金百二十一両一分永百廿八文五分	別段上納金	
ノ四百七十一両壹分永百廿八文五分		

請負人

ユウフツ

松前唐津内町
山田文右エ門

一運上金	貳百五拾両	
一金五両	貳分金	
一金三百廿三両貳分永九十八文三分	仕向金	
一金千両	慶応元丑年増運上金	
一サル迄	九里	一イシカリ境迄 拾六里
一箱館	陸路七十壹里 海路五十三里程	
一人別	千百七十八人	
一会所	内壹新千歳川	貳軒
一勤番所		壹軒
一通行屋		貳軒
一蔵	貳拾六軒	内 武器蔵壹料 備米蔵壹料 板 蔵廿四料
一牛	拾九疋	一馬 百九疋
貳三百石	七七八石迄	
一船掛り場	六ヶ所	一渡船場 貳ヶ所
但シ海岸	沖之口拾八九丁	七廿貳三丁迄

一 鰯 鯉 会所元 七百石目
 出稼中 五千石目
 一 鮭 千五百石目
 一 鰾 千五百枚
 一 鹿皮 千五百枚
 一 煎海茸

請負人

サ ル

松前唐津内町
 山田文右エ門

一 運上金 貳百両
 一金四両 貳分金
 一金四拾四両壹分永百五十文 仕向金
 一金百貳拾五両慶応元丑年増運上金
 一 ニイカツ迄

一 箱館 陸路七十八里
 海路六十三里程

一人別 千百拾六人

一会所 壹軒

一 通行屋 壹軒

一 蔵 拾四軒 内 備米蔵壹軒
 板 蔵八軒
 雜 蔵五軒

一 船 六拾六艘 内 漁 船四拾七艘
 磯 船拾九艘

一 馬 八拾疋

貳百石 〆 五百石迄

一 船掛り場 壹ヶ所 一 渡船場 壹ヶ所

一 鮭 百五十石目

一 鰯 鯉 千石目

一 煎海茸

一 鹿皮 二千五百枚

一 昆布 三百五十石目

請負人

松前唐津内町

山田文右エ門

アツケシ

一運上金 六百両

一金拾貳両 貳分金

一百三拾六両三分永百五十文 仕向金

一金三千貳百五十両 慶応四辰年六月改
増運上金

一境^ノ境迄 凡二拾六里余

一子モロ江

一箱館^ノ 陸路 百六十七里
海路 百六十三里

一人別 貳百拾九人

一会所 壹軒

一通行屋 九軒

一勤番所 壹軒

一番家 壹軒

一基場 壹ヶ所

一蔵 六ヶ所 内 貳 蔵壹軒
板 蔵廿八軒
萱 蔵卅八軒

一馬 八拾七疋

一船 八拾六艘 廻船拾艘，直行船貳艘，漁船六十艘，磯船拾三艘，
馬船壹艘

一船掛り場 貳ヶ所外ニ小島ニ同四ヶ所

一渡船場 絵図ニハ何ヶ所モ有之趣相見得候

一鯡鰯雑魚共 四千石目

一鮭 フウレン 隔年出稼 千石目
ヘ ト カ 両川共 是ハ子ムロ出稼也

一昆布 此頃ハ昆布ニ着手不致候時にて見積りなし

右者慶応三年ニ写共前^ノ古書ニ而有之候通り写シ御送り申上候間御覽被下度候以
上

明治三十一年八月三日